

学校評議員会議事録（第1回）

日 時	令和 3年 6月14日（月） 10時00分 ～ 12時00分	
会 場	北海道白糠養護学校 会議室	
出 席 者	学校評議員 4名	学校側 3名
出席者氏名	細川 和則 氏（北海道社会福祉事業団白糠学園長） 森下 智之 氏（白糠町教育委員会指導室長） 小渕 隆司 氏（北海道教育大学釧路校 教授） 坂上 綾子 氏（北海道白糠養護学校PTA会長）	校 長 仲條 正輝 教 頭 大山 伸吾 事務長 後藤 裕志

1 学校長挨拶

前年度は3回のうち対面開催は1回だけであったが、今回は今年度初めての顔合わせの機会となるため感染対策を講じて開催することとした。評議員の方々の忌憚のないご意見を伺いたい。

2 委嘱状交付



3 説明事項

- (1) 学校経営方針について ※校長より学校経営方針についての説明
 - 学校教育目標 ○スローガン ○今年度の重点目標 ○目標具現化の主な手立て
 - 育成を目指す資質・能力と教育・経営の方針
- (2) 今年度の教育活動について ※教頭より実施済みの教育活動についての説明
 - 入学式 ○合同避難訓練 ○交通安全教室
- (3) 重点目標の進捗状況 ※教頭より重点目標の進捗状況についての説明
 - オンライン活用 ○生涯学習 ○感染症対策 ○安心・安全な学校環境の構築

4 授業見学



5 評議

(1) オンラインの取組について

(質問1) オンラインの取組は全道的な規模になっているか。

→緊急事態宣言下の一部の学校では活用しているところもあるが、全道的というにはまだまだな状態だと言える。

(質問2) 対面：オンライン＝9：1とはどういう意味合いなのか。

→日常の授業のうちから少しずつ、学校が臨時休校になる前に教師も生徒もあらかじめ用意をしておくことが大切だという意味合いで用いている。生徒の実態に合わせて様々な方法を探っていくことも必要だと考えている。

(意見1) ICTの活用が重視される一方で、「育てない力」も大切なのだと思う。例えば現在の若者は分からないことがあれば何でもパソコン等ですぐ調べることができるので、そのことが知識として習得されるかが心配である。

(意見2) 特別支援学校では、今まで教員が自分で教材を作成するなどして、実践を通して蓄積をしてきた経緯があるので、今後のICT活用のためには使用する教員側もより理解を深める必要がある。

(感想1) 例えば普段は絵カードを使っているものなどを、今後はタブレットPCに表示されるようにするとか、画面を通じてやることに慣れることは大切だと思う。

(感想2) 特別支援学級の担任等の意見では、子供によってヒットする物が違うということがあるようだ。対面も重視して、状況に応じてタブレットPC等も活用するということがあり、現場ではその活用方法に悩んでいる様子もうかがえる。

(2) 避難訓練について

(質問1) 生徒を車まで誘導するのに何分くらいかかるのか。また避難完了までの目標時間など設定されているのか。

→前回訓練時は車まで6～7分程度であった。地震から20分程度で津波が本校へ到来すると想定されているので、それ以内に避難完了しなければならない。

(質問2) 他地域では、例えば学校の裏山に登るルート等が整備されている。本校でも別ルートの検討が必要ではないだろうか。

→本校で前年度実施した研修会の講師からも、日頃より迂回路や別な方法の避難も検討しておくことが重要だと助言があり、別ルートの検討を行った結果、パシクル集会所に向かうルートは実質的に1つしかない状況である。それ以外の方角に向かうためには和天別川を渡らなければならないので、状況によっては避難時の困難が予想される。

(質問3) 避難時に人員は確保できるのだろうか。

→町内在住の職員が少ないため、休日や夜間の対応は難しいと考えている。

(質問4) 学園宿舎3階へ避難するという方法があったと思うが。

→消防等の関係機関から当該建物は耐震強度に問題があることを指摘されたので、現在はパシクル集会所へ避難するように変更したという経緯がある。

(意見1) 地震の際に避難するための道路がどうなっているか予想できない。例えば学校前の国道が渋滞した時に、付近に住民が少ないこの地域では誰が交通整理をするのかといった問題があるので、消防署等の関係機関とあらかじめ協議をして対応策を考えておくことが重要だ。



(3) その他意見等

- ・今後、避難訓練等で緊密に協力して取り組んでいきたい。
- ・授業参観では、それぞれの生徒の姿に成長を感じることができた。
- ・生徒たちが参観によって普段と違う行動が見られることもある。いろいろな人が学校に参画することは大切な事である。
- ・本校の「圏域」での活動に期待したい。
- ・全般に分かり易い説明だった。コロナ禍の中では先生の健康観察も大切である。
- ・小学部がなくなってしまって残念であるが、その分、子どもたちにマンツーマンでスペースも十分確保して指導ができていないのではないかと思う。
- ・今年度は子どもたちの楽しめるような取組をお願いしたい。

- 6 次回予定について ※教頭より次回予定についての説明
第2回評議員会議は11月の予定である。

7 学校長挨拶

本日は貴重なご意見を伺うことができ、感謝申し上げたい。特に、消防等との連携の重要性に改めて気づかされた。

「教育課程は生き物」だと考えている。前例踏襲ではなく現状に即した学校づくりを進めて参りたい。